



《WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)》

《ファンド概況》

基準価額(円・1万口当たり)	10,919
純資産総額(億円)	22
マザー純資産総額(億円)[参考]	67
実質株式組入比率(%)	97.0
銘柄数	30
決算日	2/25
当初設定日	2021/10/13

※実質株式組入比率は、マザーファンドを通じた組入比率です。

《期間別騰落率・税引前(%)》

	基準価額	参考指数*
1カ月前比	+5.3	+4.1
3カ月前比	+22.0	+15.3
6カ月前比	+34.9	+21.8
1年前比	+53.5	+41.8
3年前比	-	-
設定来	+9.2	+54.5

※期間別騰落率は、税引前分配金を再投資したものと仮定して計算しています。換金時の費用、手数料等は考慮していません。

《当月の基準価額の変動要因》

	変動額(円)
株式要因	539
為替要因	27
分配金	0
その他	▲16
合計	549

※基準価額の変動要因は概算であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

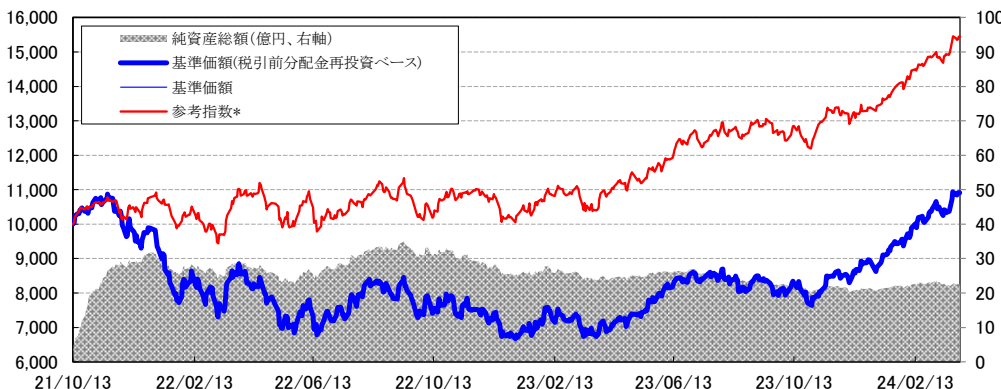
《収益分配金・税引前(円)》

期(年月日)	第1期 22/2/25	第2期 23/2/27	第3期 24/2/26	設定来 合計
分配金	0円	0円	0円	0円

※分配金は1万口当たりの金額で、直近5期分を掲載しています。

※分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

《基準価額の推移》



*参考指数は1営業日前のMSCI All Country World Index(配当込み、ドルベース)と当日TTM円/ドルレートにより算出しています。但し、設定日の前営業日は当日のMSCIを使用しています。(設定日の前営業日を10,000として指数化)
*参考指数は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考までに掲載しています。
※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は信託報酬控除後であり、税引前分配金を再投資したものと計算しています。換金時の費用、手数料等は考慮していません。
※基準価額は信託報酬控除後です。
※実績数値は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



《WCM 世界成長株厳選ファンド(予想分配金提示型)》

《ファンド概況》

基準価額(円・1万円当たり)	10,797
純資産総額(億円)	45
マザー純資産総額(億円)[参考]	67
実質株式組入比率(%)	97.2
銘柄数	30
決算日	毎月25日
当初設定日	2021/10/13

※実質株式組入比率は、マザーファンドを通じた組入比率です。

《期間別騰落率・税引前(%)》

	基準価額	参考指数*
1か月前比	+5.3	+4.1
3か月前比	+22.1	+15.3
6か月前比	+35.0	+21.8
1年前比	+53.9	+41.8
3年前比	-	-
設定来	+11.1	+54.5

※期間別騰落率は、税引前分配金を再投資したものと仮定して計算しています。換金時の費用、手数料等は考慮していません。

《当月の基準価額の変動要因》

	変動額(円)
株式要因	540
為替要因	27
分配金	▲100
その他	▲15
合計	451

※基準価額の変動要因は概算であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

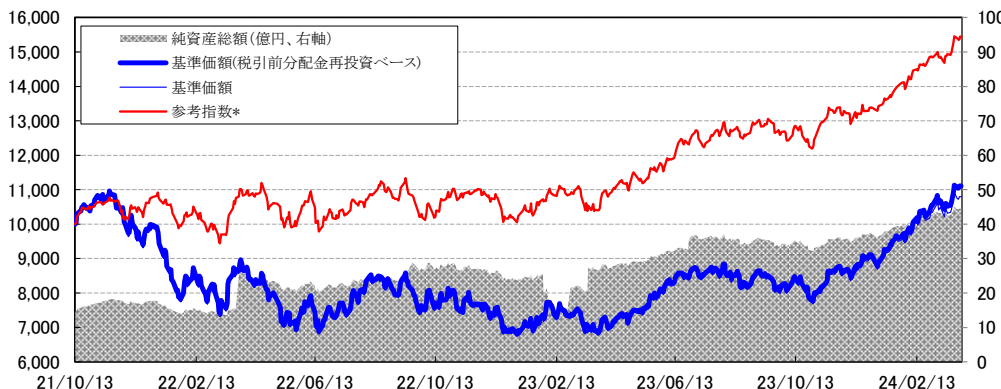
《収益分配金・税引前(円)》

期 (年月日)	第18期 23/4/25	第19期 23/5/25	第20期 23/6/26	第21期 23/7/25	第22期 23/8/25	第23期 23/9/25	第24期 23/10/25	第25期 23/11/27	第26期 23/12/25	第27期 24/1/25	第28期 24/2/26	第29期 24/3/25	設定来 合計
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	100円	100円	300円

※分配金は1万円当たりの金額で、直近12期分を掲載しています。

※分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

《基準価額の推移》



*参考指数は1営業日前のMSCI All Country World Index(配当込み、ドルベース)と当日TTM円/ドルレートにより算出しています。但し、設定日の前営業日は当日のMSCIを使用しています。(設定日の前営業日を10,000として指数化)
*参考指数は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考までに掲載しています。
※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は信託報酬控除後であり、税引前分配金を再投資したものと計算しています。換金時の費用、手数料等は考慮していません。
※基準価額は信託報酬控除後です。
※実績数値は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



《マザーファンドの資産状況》

《地域別・国別・通貨別構成比(%)と月間為替変動率(%)》

地域別	構成比		国	構成比		通貨	構成比	為替変動率
	ファンド	参考指数*		ファンド	参考指数*			
北米	71.3	66.6	アメリカ	64.2	63.9	ドル	78.2	0.5
			カナダ	3.8	2.8			
			パプニューギニア	3.4	0.0			
中南米	1.1	0.9	ブラジル	1.1	0.5			
欧州	21.0	15.5	イギリス	7.5	3.4	ポンド	7.5	0.2
			オランダ	3.1	1.2	ユーロ	8.5	▲0.0
			イタリア	3.2	0.7			
			フランス	2.2	2.8			
			スウェーデン	4.0	0.7	スウェーデンクローナ	4.0	▲2.9
			スイス	1.0	2.2	スイスフラン	1.0	▲2.1
オセアニア	2.9	1.7	オーストラリア	2.9	1.7			
中東	2.9	0.9	イスラエル	2.9	0.2			
アジア	0.8	14.1	中国	0.8	2.5	香港ドル	0.8	0.5
その他	0.0	0.3	その他	0.0	17.5			
合計	100.0	100.0	合計	100.0	100.0	合計	100.0	—

*参考指数は1営業日前のMSCI All Country World Index (配当込み、ドルベース)と当日TTM円/ドルレートにより算出しています。

*参考指数は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考までに掲載しています。

※構成比は現物ポートフォリオに占める比率、月間為替変動率は対円で円高はマイナス表示となります。

※ファンドの地域・国はWCM社の定義に基づいて区分しています。

《業種別構成比(%)》

業種	構成比	
	ファンド	参考指数*
ソフトウェア・サービス	19.2	9.0
金融サービス	13.5	6.2
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	11.1	7.3
資本財	9.3	7.4
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	7.1	6.0
半導体・半導体製造装置	5.7	8.6
商業・専門サービス	5.3	1.5
一般消費財・サービス流通・小売り	5.0	4.8
ヘルスケア機器・サービス	4.8	3.9
保険	3.4	3.1
自動車・自動車部品	3.3	2.4
耐久消費財・アパレル	3.2	1.6
消費者サービス	2.7	2.0
運輸	2.3	1.9
公益事業	2.2	2.5
素材	1.7	4.2
その他	0.0	27.5
合計	100.0	100.0

※業種はGICS(世界産業分類基準)に基づくものです。

《アクティブシェア》

97.0%

※アクティブシェアとはポートフォリオの構成比が参考指数とどれだけ異なっているかを示す指標で、0%~100%の間の数値で100%に近いほど、参考指数と異なるポートフォリオであることを示しています。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



《マザーファンドの資産状況》

《組入上位20銘柄の構成比(%)と月間騰落率(%)》

順位	銘柄名	国	通貨	業種	概要	構成比	月間騰落率	
							現地通貨ベース	円ベース
1	アップラビン	アメリカ	ドル	ソフトウェア・サービス	モバイルゲームのアプリ開発者向けに集客や広告収益の最大化を支援する。	7.9	19.3	19.9
2	アゼンタ	アメリカ	ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	医薬品開発、細胞治療等の分野におけるサンプルの低温貯蔵管理サービスの提供を行う。	6.0	▲ 7.6	▲ 7.1
3	テトラ・テック	アメリカ	ドル	商業・専門サービス	水、環境、インフラ、資源管理等の分野でコンサルティングサービスを提供する。	5.3	5.1	5.6
4	アマゾン・ドット・コム	アメリカ	ドル	一般消費財・サービス流通・小売り	オンライン・ショッピング・サイトやクラウド・コンピューティング・サービスを提供する。	5.0	4.2	4.7
5	ショックウェーブ・メディカル	アメリカ	ドル	ヘルスケア機器・サービス	石灰化プラークを治療するための血管内碎石技術の開発・製品化に従事する。	4.8	24.0	24.6
6	3iグループ	イギリス	ポンド	金融サービス	プライベート・エクイティやインフラ事業に特化したファンドを中心に運用を行う。	4.5	14.7	15.0
7	データドッグ	アメリカ	ドル	ソフトウェア・サービス	クラウドインフラやアプリケーションのモニタリングや分析、ログ収集等を行う。	4.4	▲ 5.3	▲ 4.8
8	ゼネラル・エレクトリック	アメリカ	ドル	資本財	航空宇宙分野を中心に幅広い製品とサービスをグローバルに提供する。	4.4	-	-
9	サーブ	スウェーデン	スウェーデンクローナ	資本財	航空機や指揮統制システムなど先端商品の開発、技術サービスの提供などを行う。	4.0	16.9	13.4
10	セレスティカ	カナダ	ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	資本財やテクノロジー関連企業向けの各種製造受託サービスを提供する。	3.8	9.2	9.7
11	アーチ・キャピタル・グループ	バミューダ	ドル	保険	子会社を通じ、航空、海上、医療等に関連する損害保険や再保険サービスを取り扱う。	3.4	4.7	5.2
12	アリストネットワークス	アメリカ	ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	大規模インターネット企業向けにクラウドネットワーク製品の開発・販売を行う。	3.3	6.2	6.7
13	イルミナ	アメリカ	ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	遺伝的変異及び生体機能の大規模解析を行うための統合システムの開発・製造を行う。	3.3	▲ 2.6	▲ 2.1
14	モーデン・マニファクチャリング	アメリカ	ドル	自動車・自動車部品	熱伝導・蓄熱テクノロジー製品やシステムを開発・製造・販売する。	3.3	5.5	6.0
15	モンクレール	イタリア	ユーロ	耐久消費財・アパレル	大手衣料品メーカーでアウトウェア・カテゴリーにおいて支配的な地位を有する。	3.2	8.9	8.9
16	アディエン	オランダ	ユーロ	金融サービス	グローバル企業を中心に国際決済ソリューションを提供する。	3.1	7.7	7.7
17	インテグリス	アメリカ	ドル	半導体・半導体製造装置	半導体産業などの加工・製造段階で必要とされる製品や材料の開発、製造を行う。	3.0	6.8	7.3
18	ワイズ	イギリス	ポンド	金融サービス	インターネット上で手数料を抑えた国際送金サービスを提供する。	3.0	4.1	4.3
19	LPLファイナンシャル・ホールディングス	アメリカ	ドル	金融サービス	ファイナンシャル・アドバイザーに投資助言や仲介等のプラットフォームを提供する。	2.9	▲ 1.6	▲ 1.1
20	マンデードットコム	イスラエル	ドル	ソフトウェア・サービス	業務をオンラインで一元管理し、目標を効率的に達成できるプラットフォームを提供。	2.9	3.9	4.4

※構成比は現物ポートフォリオに占める比率となります。

※当月中に新たに組み入れた銘柄については、月間騰落率を「-」としています。

※銘柄の国はWCM社の定義に基づいて区分しています。

《運用概況》

3月の米国株式市場は、パウエルFRB(米連邦準備理事会)議長の議会証言を受けて、6月の利下げ観測が強まり、上昇して始まりました。その後、発表されたインフレ指標が市場予想を上回る伸びを示すと、早期利下げ期待が後退し、反落しました。しかし、FOMC(米連邦公開市場委員会)で年内に少なくとも0.75%の利下げが想定されていることが示され、従来の利下げ予想から変化がないことへの安心感が広がると、株式市場は再び上昇し、前月末比では上昇して月末を迎えました。欧州市場やエマージング市場も上昇となりました。為替市場では、円は対ドルでは小幅に円安となりましたが、対ユーロではほぼ変わらずとなりました。

当ファンドの保有銘柄については、個別銘柄では、アップラビン(アメリカ、ソフトウェア・サービス)、ショックウェーブ・メディカル(アメリカ、ヘルスケア機器・サービス)、3iグループ(イギリス、金融サービス)等がプラスに寄与しました。一方で、アゼンタ(アメリカ、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)、データドッグ(アメリカ、ソフトウェア・サービス)、ウーシー・アプテック(中国、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)等がマイナスに寄与しました。

全組入銘柄はこちら



■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

WCM セレクト グローバル グロース株式マザーファンド(以下、マザーファンド)への投資を通じて、世界各国の金融商品取引所に上場(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)している株式に実質的に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

*原則として、日本企業への投資にあたっては、ADRを利用します。

■ファンドの特色

- 1 日本を含む世界各国の株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 2 参入障壁の持続可能性、企業文化、構造的成長力、バリュエーションなどに基づき、ボトムアップ・アプローチ※を通じて銘柄を厳選のうえ、30~50銘柄程度に集中投資します。
※ボトムアップ・アプローチとは、投資対象となる個別企業の調査、分析に基づく投資判断をもとに銘柄選択を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築する運用手法です。
- 3 株式等の運用指図に関する権限をWCMインベストメント・マネジメント・エルエルシー(WCM社)へ委託します。
※当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。

▼WCMインベストメント・マネジメント・エルエルシーについて

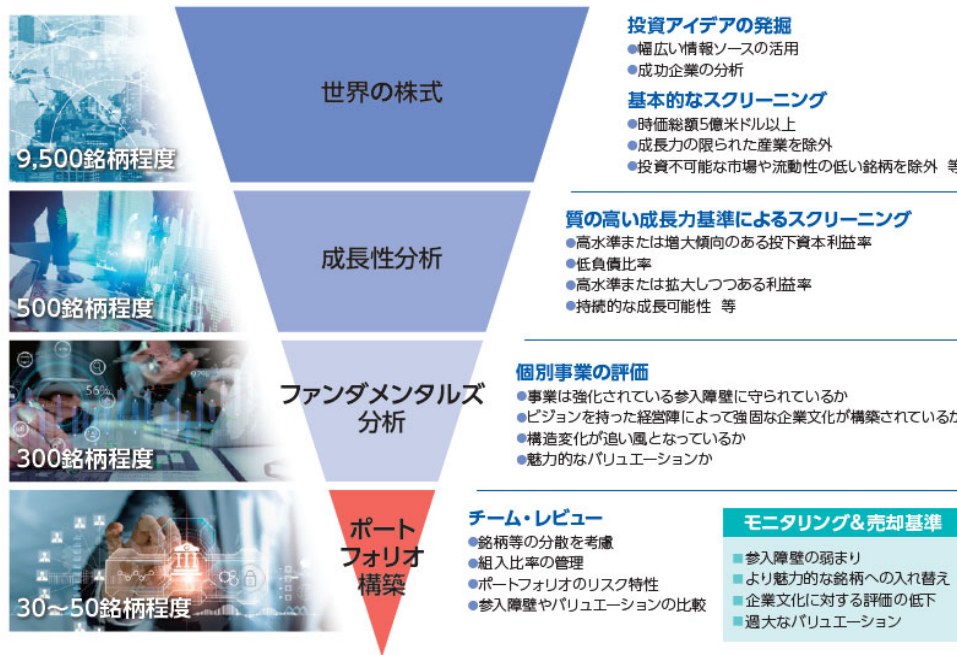
WCM社は、グローバル成長株運用等において評価の高い米国の運用会社です。

設立:1976年

所在地:米国カリフォルニア州ラグナビーチ

運用資産:820億米ドル(2023年12月末)

運用プロセス



- 上記の運用プロセスは、2023年8月現在のものであり、今後変更となる場合があります。
- 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。●上記の銘柄数は変動する場合があります。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



ファンドの目的・特色

4 実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。

5 (資産成長型)と(予想分配金提示型)の2つのファンドからご選択いただけます。

各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の申込手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。詳しくは販売会社にご確認ください。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

分配方針

(資産成長型)

年1回(2月25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

収益分配金額の決定にあたっては、複利効果による信託財産の成長を目指すため、原則として分配を極力抑制する方針とします。(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(予想分配金提示型)

毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 原則として、各計算期末の前営業日の基準価額の水準に応じて、以下の金額の分配を目指します。ただし分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、下記分配金額としないことや分配を行わないことがあります。

各計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案した分配金額
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。

※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

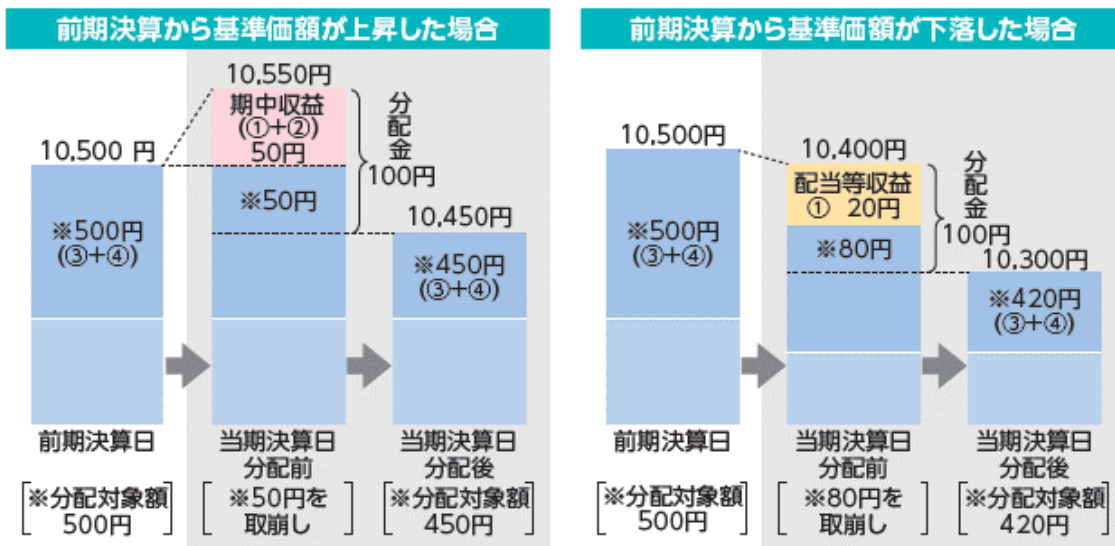
収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

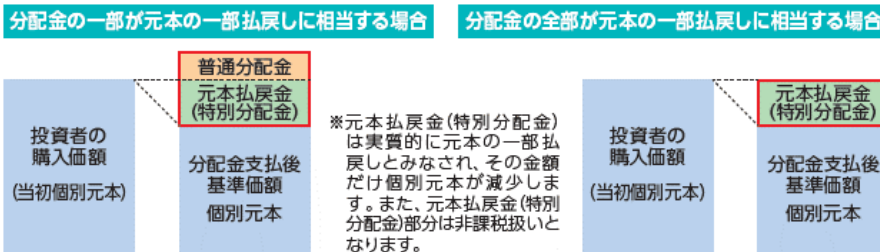
《計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合》



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。
(特別分配金) 分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、当ファンドの運用の内容やリスク等を説明するために作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



投資リスク

ファンドは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の値動きなどの影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、これを割り込むことがあります。ファンドは預貯金と異なります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

■基準価額の変動要因

《株価変動リスク》

企業の経営・財務状況の変化、国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受けて株価が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。ファンドが投資している企業が業績悪化や倒産等に陥った場合、その企業の株価は大きく下落し、ファンドの基準価額に大きな影響を及ぼすことがあります。

《為替変動リスク》

一般に外国為替相場が対円で下落した場合(円高の場合)には、外貨建資産の円ベースの資産価格は下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

《信用リスク》

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が生じた場合またはそれが予想される場合には、それらの価格は下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

《カントリーリスク》

一般に、有価証券への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。その結果、ファンドの投資対象有価証券の発行国の政治、経済、社会情勢等の変化により、金融市場が混乱し、資産価格が大きく変動することがあります。

《流動性リスク》

ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

■リスクの管理体制

ファンドのリスク管理は、社内規程やガイドライン等に基づき、運用部門のほか、管理部門およびコンプライアンス部門により行われています。また、リスク管理の状況は、委託会社の役員および各部門の代表者により構成されるリスク管理に関する委員会等において報告・検証され、必要に応じて改善される仕組みとなっています。

流動性リスクの管理は、社内規程やガイドライン等に基づき、ファンドの組入資産のモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行っています。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督しています。

マザーファンドの外貨建資産の運用を行う投資顧問会社は、専任のポートフォリオ・スペシャリストを配置し、ポートフォリオのリスク特性をリアルタイムで把握するほか、定期的にレポートを作成し、ファンドの運用状況に関する情報を委託会社へフィードバックします。



手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社へお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 ※販売会社へお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた分を当日のお申込みとします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所が休場日の場合は、購入・換金のお申込みができません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みを制限する場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金申込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	無期限(設定日:2021年10月13日)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときなどには、繰上償還されることがあります。
決算日	◆(資産成長型) 毎年2月25日(休業日の場合は翌営業日) ◆(予想分配金提示型) 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	◆(資産成長型) 年1回決算を行い、分配方針に基づいて分配金額を決定します。 ◆(予想分配金提示型) 毎月決算を行い、分配方針に基づいて分配金額を決定します。 ※分配を行わない場合もあります。 ※収益分配金をそのつど受け取るコースと自動的に再投資するコースがあります。自動的に再投資するコースを選択された場合の収益分配金は、税金が差し引かれた後、決算日の基準価額で再投資されます。
スイッチング	各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の申込手数料は、販売会社が定めています。 また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。詳しくは販売会社にご確認ください。

■ファンドの費用・税金

《ファンドの費用》

◆投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に 年1.958%(税抜1.78%) の率を乗じて得た額 ※(資産成長型)は毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期間末または信託終了のとき、(予想分配金提示型)は毎計算期間末または信託終了のときファンドから支払われます。
その他の費用・手数料	以下の費用などがファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 ・ファンドの監査費用(ファンドの日々の純資産総額に年0.011%(税抜0.01%)の率を乗じて得た額。ただし年44万円(税抜40万円)を上限とします。) ・有価証券売買時の売買委託手数料 ・先物・オプション取引等に要する費用 ・資産を外国で保管する場合の費用

※ファンドの費用(手数料等)の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《税金》

当ファンドは、課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。

(資産成長型)は、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※上記は、税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

原則として、個人の受益者については、収益分配時には普通分配金に対して課税され、ご換金(解約)時および償還時には解約価額および償還価額から取得費(申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税相当額を含みます。)を控除した差益(譲渡所得)に対して課税されます。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。



《委託会社その他の関係法人》

委託会社

ファンドの運用の指図等を行います。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

受託会社

ファンドの財産の保管および管理等を行います。

みずほ信託銀行株式会社

販売会社

投資信託説明書(交付目論見書)の提供、受益権の募集の取扱い、解約請求の受け付け、収益分配金、償還金、解約代金の支払い等を行います。

当社ではホームページにて、商品内容・運用実績等の
情報提供サービスを行っております。URL: <https://www.alamco.co.jp/>

● 販売会社一覧

《WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)》

販売会社名	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号	○			○
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第199号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者:株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	

《WCM 世界成長株厳選ファンド(予想分配金提示型)》

販売会社名	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号	○			○
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第199号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者:株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	